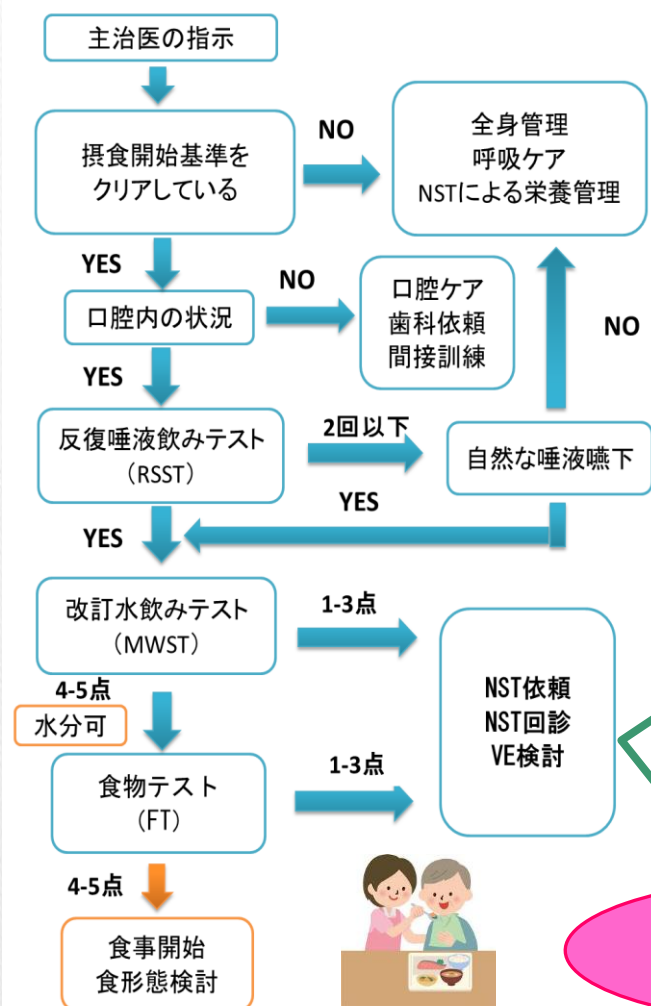


安全に食事を開始しよう！

～VE(嚥下内視鏡)に辿り着くまで～

高齢化により誤嚥性肺炎の入院患者さんは増加しています。誤嚥を繰り返さないようにするためには、意識状態、嚥下機能、呼吸状態などを総合的に評価して食事を開始することが重要です。今回は摂食開始基準と食事開始プロトコルを紹介します。

食事開始プロトコル



摂食開始基準

- ①意識レベルJCSⅡ-10以上
- ②病状の進行がない
- ③口腔内の汚染がない
- ④気道クリアランスが良好
- ⑤呼吸状態が安定(吸引で対応可)
- ⑥気管カニューレ抜去2日目以降
- ⑦バイタルサインが安定している
- ⑧体温37.5度以下
- ⑨姿勢が安定している
- ⑩医師の指示がある

VEが必要だと感じたら・・・

- ①**嚥下テスト**を行う
→リンクナースに相談してください
- ②主治医が本人もしくは家族から同意を得る
- ③NSTへ連絡し日程調整する
- ④日程が決まったら病棟へ連絡し実施

嚥下テスト(水飲みテスト・フードテスト)を行った際は、
テンプレート記載してね！



食事中にむせたり、SAT低下がみられる場合は、VEの前に嚥下評価をしてみましょう。嚥下評価の結果、経口摂取可否の判断が難しいときにはVEの検討も必要です。NSTに相談して下さい。

【編集後記】

安全に食事が食べられるようにNSTメンバーはいつでも支援します！詳細は摂食嚥下マニュアルに記載されています。参考に見てみてください。NST委員会 相澤(歯科口腔外科)、田中(4C)、難波(4C)